

# 平成24年度第2回政策会議

日時 平成24年10月22日(月) 10:00~11:30

会場 市長会議室

参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 山本教育長

谷口企画部長 上戸総務部長 大竹財務部長

## 議題(1) 緑の島の整備について(案)

◎対応 妹尾港湾空港部長, 國安次長, 藤森港湾課長, 藤澤主査, 鹿内主査

### ◆ 議題の趣旨 ◆

緑の島は、昭和60年に函館港港湾計画において港湾緑地として計画決定、整備については、平成3年度から緑地工事に着手し、全体面積8haのうち、南側(山側)の4.8ヘクタールが整備を完了しております。未整備となっている北側(海側)の3.2ヘクタールについては、芝生広場および駐車場として暫定的な整備を行ってきていますが、このたび、整備済である南側の多目的広場と一体的な利用を図り、大規模なイベントの開催も可能とする整備(案)をまとめたので、その内容について協議を行いました。

### ◆ 協議の結果 ◆

緑の島の整備(案)については、了承されました。

### ◆ おもな発言 ◆

#### ■ 妹尾港湾空港部長

このたびの整備の考え方であるが、未整備箇所の3.2ヘクタールについて、大規模なイベントの開催を可能とすること、また、多目的広場として一体的な利用を図ることを基本の考え方として整備を行うものである。

具体的な整備内容だが、現在、盛土となっている中央部分については、隣接する南側の広場と一体的な利用を可能とするため、盛土を削ることとし、また、南側と北側の広場には約2メートルの高低差があるので、広場の一体性と移動の容易性、安全性が確保できるよう、その中央部を緩やかな斜面として整備する。

北側の広場は、現在、芝生であるが、将来のメンテナンス、使い勝手などを考慮し、カラー舗装にすることを考えている。

金森側、水産市場側には、潮風による芝生の塩害などを考慮し、築山を整備していきたいと考えている。また、乗用車や大型バスの駐車場の確保のほか、給排水設備や照明等の整備を考えている。

これらの整備の第1段階として、平成24年度中に基盤整備工事を実施することとしている。

なお、このたびの整備では、箱館丸の移設、ステージやレストハウスの設置は盛り込んでいないが、ステージについては、組立式のステージの設置について、今後、検討のうえ、改めて協議したいと考えている。

次に事業費についてであるが、実施設計委託に1,000万円、整備工事については、基盤整備工事や多目的広場の工事などで4億9,000万円、総事業費では5億円になるものと見込んでおり、財源としては、合併特例債を活用することとしている。

整備スケジュールについては、実施設計を平成25年1月から3月末まで、基盤整備工事を同年2月から6月末までと考えている。整備工事については、平成25年度に多目的広場と築山の工事、平成26年度に駐車場と照明設備などの工事をいずれも9月から翌年3月までの工期で考えている。

■大竹財務部長

現在、南側と北側の広場の間にある盛土部分の地面の状態は、整備後、どのようなになるのか。

□藤森港湾課長

最終的には芝生になるが、平成25年は砂利敷きの状態となる。

■大竹財務部長

南側広場と北側広場の間の傾斜は、どのくらいの角度になるのか。

■妹尾港湾空港部長

最終的には6%程度に収まると考えている。市役所正面にスロープがあるが、その勾配が約6%なので、それをイメージしていただければと思う。

■工藤市長

現在の盛土部分は、整備後、どの程度の高さになるのか。

■妹尾港湾空港部長

南側の広場と同じ高さになる。

■山本教育長

ステージを設置する場合は、北側の広場に組み立てるイメージなのか。

■妹尾港湾空港部長

組立式のステージを想定した場合、イベントを主催する人の要望に応じて、フレキシブルに対応できるというふうに考えている。

■工藤市長

了解した。案については、このとおりとする。

## 議 題(2) 戸井地域の社会教育施設の再編による 戸井西部総合センター整備方針(案)について

◎対 応 種田生涯学習部長，堀田次長，坂野次長，齋藤戸井支所長，  
三尾戸井教育事務所長，渡邊管理課長，大島施設課長  
東海林戸井支所地域振興課長

### ◆ 議題の趣旨 ◆

合併建設計画では，4地域それぞれに社会教育やコミュニティ活動の拠点となる施設の整備が計画され，他の3地域で拠点施設の整備が進むなか，戸井地域での整備が課題となっています。

このたび，戸井地域における東部地区，西部地区それぞれの施設の役割や位置，利用状況や老朽度等のほか，防災の観点にも配慮した施設再編の方針と，西部地区においては，地域コミュニティの拠点機能を併せ持った新たな施設として戸井西部総合センターの整備方針(案)をまとめたので，その内容について協議を行いました。

### ◆ 協議の結果 ◆

戸井地域の社会教育施設の再編による戸井西部総合センターの整備方針(案)については，スケジュールの表現を修正することで了承されました。

### ◆ おもな発言 ◆

#### ■種田生涯学習部長

戸井地域の社会教育施設再編による戸井西部総合センターの整備については，4地域のコミュニティセンターのあり方の検討を進めるなかで，戸井青少年会館を改修するという方針もあったが，海岸沿いに位置し，防災上のリスクが高いことから，バイパス沿いの戸井運動広場に新たな施設を整備することで検討してきた。そのなかで，社会教育施設の統廃合だけでなく，地域会館の統合再編についても整理する必要があるとの指摘もあり，このことについては，後ほど，戸井支所長から説明してもらう。

それでは，整備方針(案)について，戸井教育事務所長から説明する。

#### □三尾戸井教育事務所長

戸井地域には社会教育施設が7施設あるが，そのうち5施設が昭和40年代から50年代に建設されたもので，老朽化が進んでいるほか，災害時の避難所に指定されながら，標高が低いところにある施設もある。また，合併建設計画では，4地域それぞれに社会教育やコミュニティ活動の拠点となる施設の整備が計画されており，他の3地域で拠点施設の整備が進むなか，戸井地域においては，東部地区では戸井総合学習センター，戸井生涯学習センターがその役割を担っているが，西部地区には拠点となる施設がないため，新たな施設の整備が望まれている。

再編方針であるが、東部地区については、総合学習センターと生涯学習センターを拠点施設として維持する。老朽化の著しい公民館、利用者の少ない郷土館、埋蔵文化財展示館は廃止するが、当面は、資料保存のための収蔵庫として活用したい。

西部地区については、老朽化が著しい青少年会館が海岸沿いに位置しており、防災上のリスクも高いことから廃止し、標高の高い戸井運動広場内に生涯学習の中核的な役割を果たすとともに、郷土資料の展示や地域コミュニティ機能も併せ持った施設として、戸井西部総合センターを整備することとしたい。

戸井西部総合センターの施設配置については、既存のクラブハウスを解体し、広場敷地東側にクラブハウスの機能を持った新しい拠点施設を整備することとしている。規模は、恵山コミュニティセンターと同規模の約830㎡を想定しており、集会ホールや郷土資料展示コーナー、調理室等を配置したいと考えている。駐車場についても、恵山とほぼ同様の70台程度を考えている。

スケジュールについては、本日の会議で了承が得られれば、平成25年度に実施設計、平成26年度に建築工事、平成27年度に供用開始したい。

概算事業費については、総事業費が3億6,800万円となっており、その財源としては、過疎債を活用することとしている。

#### ■ 齋藤戸井支所長

戸井地域の地域会館の整理統合の考え方について、説明したい。

現在、戸井地域には10町会あり、地域会館としては11施設ある。町会の中には、社会教育施設を利用しているところや複数の地域会館を持っている町会もあるが、戸井支所の考え方としては、社会教育施設を含めて1町会1施設を基本として、利用頻度の少ない地域会館の整理も検討したいと考えている。

#### ■ 工藤市長

運動広場の西側のゲートボールやテニスコートは、利用があるのか。多目的グラウンドは、どのような使われ方なのか。

#### ■ 種田生涯学習部長

結構な利用がある。多目的グラウンドは、そんなに広いスペースでないが、地域の子どもたちが野球やサッカーをしている。

#### ■ 工藤市長

戸井生涯学習センターは、平成10年の建設で新しいが、利用はどうか。

#### ■ 種田生涯学習部長

大人数が集まれるような施設ではない。

#### ■ 工藤市長

今、大人数が利用できる施設はどこか。新しい施設は、どの程度利用できるのか。

■種田生涯学習部長

現在は、戸井総合学習センターが200人程度の利用ができる。  
新しい施設は、200人以上の利用が可能となる。

■工藤市長

整備の考え方や事業費など構想をまとめるのは良いが、教育施設では、図書館や公民館の改修、学校の耐震化などもある。整備時期については、他の教育施設との優先度や財政状況を考慮しなくてはならない。分散しているが、戸井には現時点で施設があるので、もう少し検討して欲しい。

■中林副市長

戸井支所長が説明した地域会館の整理については、戸井だけの問題ではない。4支所の中で整理しなくてはならない会館が数多くある。4支所全体が今の会館をどう整理するのか、その方針の中で各支所が進めなくてはならない。

■齋藤戸井支所長

合併建設計画には、社会教育施設の統合と西部地区のコミュニティ施設建設の2本があった。これを両方合わせ、教育施設として整備することで、それがコミュニティ施設にもなるので、今回の社会教育施設の統合に合わせて、地域会館についても整理しようと考えた。

■工藤市長

それは分かるが、4支所で考え方をまとめ、共通認識をもって、支所管内を解決しなくてはならない。

■中林副市長

地域会館の整理を総合センター整備と連携して、戸井で先行してやるのは良い。ただ、4支所全体の地域会館の整理方針は作成しておかなくてはならない。

■工藤市長

直接的な各地区ごとの方針は4支所、総体的には市民部、財産管理の面では財務部が中心となって考えなくてはならない。

整備方針については、了承した。事業スケジュールについては、地域会館のあり方を整理するとともに、財政状況や他の社会教育施設整備との優先度を考慮しながら、進めることとする。

## 議 題(3) (仮称)日吉多目的グラウンド整備基本計画(素案) について

◎対 応 種田生涯学習部長，堀田次長，坂野次長，渡邊管理課長，  
池田参事3級，猪川主査

### ◆ 議題の趣旨 ◆

市内で競技人口が最も多いサッカーについては，日吉サッカー場のほか，昭和公園や緑の島の多目的広場などが使用されていますが，公式試合に使用できるのは日吉サッカー場の天然芝コート1面のみで，大規模な大会やスポーツ合宿の誘致は困難な状況にあります。このたび，旧函館北高等学校跡地を活用し，サッカーやラグビーなどの全国・全道レベルの大会やスポーツ合宿などを誘致することができるグラウンドを整備するため，(仮称)日吉多目的グラウンド整備基本計画(素案)を作成したので，その内容について協議を行いました。

### ◆ 協議の結果 ◆

(仮称)日吉多目的グラウンド整備基本計画(素案)については，了承されました。

### ◆ おもな発言 ◆

#### ■ 種田生涯学習部長

(仮称)日吉多目的グラウンドについては，サッカーとラグビー共用コート2面，フットサルコート3面をいずれも人工芝で多目的な利用が図られるよう整備するほか，コートの周囲に1周800メートルのランニングコースも整備したいと考えている。

整備内容について，本日の会議で了承が得られれば，11月中旬から12月中旬までパブリックコメントを行い，年明け早々には基本計画を決定したい。

なお，課題として，計画地の周囲が住居と幹線道路に囲まれるということで，一部に高さ20メートルの防球ネット，また，松倉川水系の雨水対策として調整池が必要となる可能性があり，実施設計で精査されるが，工事費の増こうが危惧される場所である。

#### ■ 工藤市長

調整池はどこに造るのか。

#### ■ 種田生涯学習部長

狭い土地だが，コート外の多目的スペースを利用するしかないと考えている。状況によっては，全体に浸透マスを設置するのだが，実施設計で，どれだけの水を飲み込めるか想定し，対策を検討したい。

それでは，素案の概要について，担当参事から説明する。

### □池田参事3級

計画地である旧北高跡地は、函館新外環状道路の（仮称）日吉インターチェンジに接続する放射4号線に接することから、交通環境は非常に良く、さらに日吉中央通も整備されることにより、湯川方面への交通環境が良くなるため、合宿などを誘致する観点からも優位な場所にある。また、計画地の東側150メートル程度の場所に日吉サッカー場があり、一体的に利用することでスケールメリットも期待できるものである。

施設については、土地の形状や敷地内へのアプローチ、周辺の土地利用などを踏まえたうえで、可能な限り周辺住宅地への影響が少ない配置とし、乗用車やバスの駐車場についても、グラウンドの同時最大利用者数を設定し、必要な台数分を配置している。

競技場については、サッカー協会やラグビー協会と協議しながら、維持管理や運営上の利便性が高い、敷地形状に合わせたT字型のコート配置としている。

観客席については、都市計画の用途上、設置できない土地であるが、法面で300人程度が観覧可能であるほか、ランニングコースの周りを利用することで、いずれのグラウンドも一定の観覧に配慮したような形で整備したいと考えている。

グラウンド面については、競技者にとっては天然芝の方がいいが、管理上の使用制限もあるため、多少イニシャルは高くなるが、人工芝で整備したい。ランニングコースについては、維持費も勘案して、アスファルト舗装で整備したいと考えている。

調整池整備などの雨水流出対策および防球ネットの設置については、今後の設計業務のなかで、その必要性や具体的な手法を検討したいと考えている。

照明灯については、住宅地の中にあるため、必要最小限の設備とし、また、配置にあたっては住宅が密集している西側のグラウンドの方には設けず、東側のグラウンド、フットサルコートの部分にだけ設けることとしている。

供用時間については、アンケート結果等を勘案し、午前8時から午後8時までにしたと考えている。

管理棟には、トイレ、シャワー、ロッカー室などを配置することとしている。

概算事業費については、建設事業費が12億、既存の建物の解体が3億、トータル15億を見込んでおり、その財源としては、合併特例債を活用することとしている。

整備スケジュールについては、今年度に基本計画を策定し、平成25年度に旧北高校舎の解体、実施設計を行い、平成26年度に本工事に着工、平成27年8月から供用開始したいと考えている。

### ■工藤市長

管理棟は、どの程度のものなのか。

### ■種田生涯学習部長

2階建てで、2階のグラウンド側にバルコニーを整備し、大会本部としての利用がしやすいようにしようと考えている。その他、各チームが作戦会議などのできる多目的会議室を配置することとしている。1階には、更衣室、トイレ、

シャワーを設置する。シャワーについては、サッカー協会は、無くても良いと言っているが、ラグビー協会は、屋外で構わないので欲しいと言っている。

現時点では、事業費を抑えるため、シャワーは屋外に設置し、冬は使わないことで考えている。

■中林副市長

雨が降ったときは、着替えてタオルで拭くだけじゃなくて、やはりシャワーを浴びたいのではないか。

■種田生涯学習部長

現在も日吉サッカー場にあるが、ほとんど使われていない。

■工藤市長

日吉サッカー場の方は、シャワーも管理棟も廃止すればいいのではないか。

■種田生涯学習部長

日吉サッカー場の隣には、日吉庭球場もあり、この管理も行っているので、日吉サッカー場に管理機能を集約しようと考えている。

■工藤市長

テニスの競技人口は、それほど多くないが、日吉のテニスコートの利用率は高いのか。千代台やNHK広場のコートで十分なのではないか。

■種田生涯学習部長

利用率については、事業仕分けでも指摘されている。ただ、テニスについては、団体に加盟していない人も多く、趣味でやっている人が多い。

■工藤市長

多目的グラウンドの基本計画（素案）は了承するが、整備と合わせ、利用率が低いものは集約するなど、整理するものは整理した方がいい。